

大学生の意識の調査 ～親への意識～

小林沙雪（文教大学情報学部メディア表現学科）

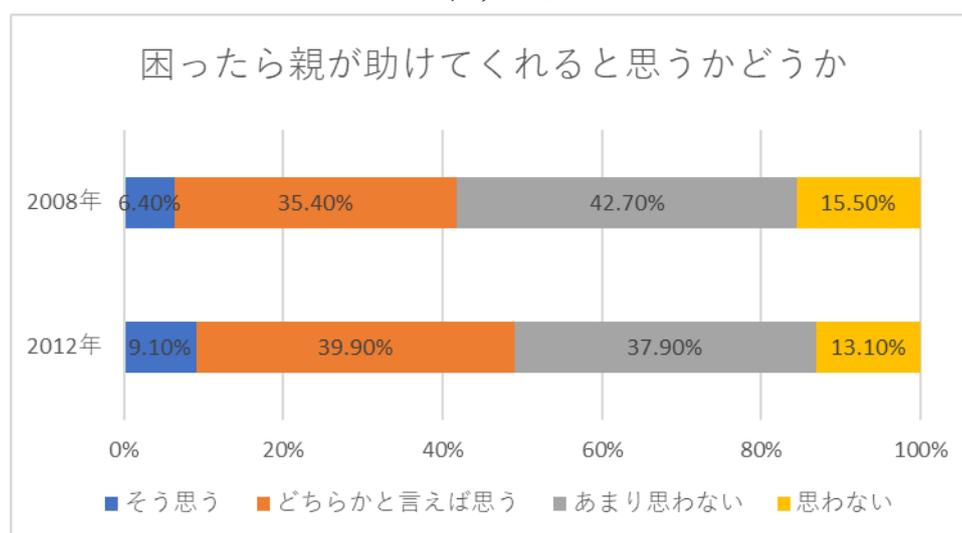
1. はじめに

本調査の目的は三つある。子どもの親への意識を調査し、状況を把握すること。親との関係性や親への意識に影響を与えている要因やその関係性を明らかにすること。最後にインターネットに流れている、家族に関する情報をどのように受け止め、どのように行動しているのかを明らかにすること。これら三つを目的として調査を行った。

大学に入学する際や生活をしていく上で家族の支援が必要となるのは当然だろう。特に資金面での支援や精神面での支えが主となり、保護者という安心できる存在を潜在的に感じていると考えている。その根拠にグラフ1を示す。実際に2008年に比べ2012年の学生は困ったことがあったら親が助けてくれると感じている割合が高く、依存に近い信頼を抱いていると分かる(ITmedia、2013)。

一方、家庭内の事件や問題を目にするのが多いのも事実である。殺人事件のうち家族の間で事件が発生するものは2019年で54.3%を占めるほどである。(一瀬、2021)理由としては我慢してきた感情が手に負えなくなってしまったことや人間関係への苦悩がある。(一瀬、2021)これらを受け、このような家族内での問題を解決するためには親への意識を改善することができれば、家族関係が良好になるのではないかと感じた。よって家族関係に影響するであろう要因を調査することとした。

グラフ1



IT media オンラインの記事より筆者作成

日本家族社会学会が調査した「全国家族調査」では定期的な調査より時代の流れによっ

て家族間の関係性や家族に対する意識や考え方の変化が起こっていることが明らかとなっている。(西野、2021)それを象徴するように登場したものに「親ガチャ」という言葉がある。

親ガチャには「子には親は選べない」「どんな家庭に生まれるかは運次第」「どんな家族に恵まれるかはまるでゲームのガチャみたいである」という意味がある。(大内、2021)このような言葉が現在の社会で広まったのには親への意識に変化が起きているからだと考えている。それには金銭的な要因や親との関係性など社会的な要因があるだろう。実際に優しくかった母親からの突然の罵倒によって「親ガチャ失敗した」と感じた人がいると先行研究で述べられている。(伊藤、2022)また冗談ながらも「親ガチャ失敗した」と言う高校生がいたり、Twitterで見たことがあると答えた人が多かったりと述べられている。更には親ガチャという言葉は「自分ではどうやってもコントロールできないことについて説明する際に、うまく話をするのに適している言葉であると答えた人がいる。(伊藤、2022)このようにネガティブなものとして認識されている「親ガチャ」という言葉が、大学生にどのような影響を与えているのかについても調査してみる。

2. 研究方法

〈調査期間〉

2022年12月14日～23日

〈調査対象〉

文教大学の3校舎に所属している1年生～4年生の学生のうち、ランダムサンプリングにて抽出された580名が対象。ただし、15名はエラーで対象外となった。

越谷キャンパス 教育学部(学校教育:国語・社会・数学・理科・音楽・美術・体育・家庭・英語・特別支援教育・初等連携教育・児童心理教育・幼児心理教育)

人間科学部(人科・臨床・心理)

文学部(日文・英文・中文・外国語)

足立キャンパス

経営学部(経営)

国際学部(理解・観光)

湘南キャンパス

情報学部(情報システム・情報社会・メディア表現)

健康栄養学部(管理栄養)

〈調査方法〉

Google フォームによるオンライン調査。サンプリング抽出で該当した学生のメールアドレスにアンケートを添付し回答してもらった。以下の割り当て表を使用し、層化抽出法によってサンプリングを行った。

学部別割り当て数と対象者の割合の図

	学部	学科	学生数	対象数	割合
湘南	情報学部	情報システム学科	1242	88	75%
		情報社会学科			
		メディア表現学科			
	健康栄養	管理栄養学科	404	28	25%
		合計	1646	117	20%
足立	経営	経営学科	717	51	39%
	国際	国際観光学科	1114	79	61%
		国際理解学科			
		合計	1831	130	23%
越谷	人間科学	人間科学科	1730	123	37%
		心理学科			
		臨床心理学科			
	文学	英米語英文学科	1435	103	31%
		外語語学科			
		日本語日本文学科			
		中国語中国文学科			
	教育	学校教育課程学科	1492	106	32%
		心理教育課程学科			
		発達教育課程学科			
	合計	4657	332	57%	
	総合計	8134	580	71%	

〈質問項目〉

1 父親と母親に対する意識

- ・年代別で意識を調査するために中学時代の父親、母親と現在の父親、母親に分けて【仲が良さ】【尊敬】【不満感の有無】【嫌悪感の有無】の質問をした。
- ・家庭内での行事や出来事の頻度を調査するために中学時代と現在の質問を分けて、【一緒に食事をする】【一緒に娯楽を楽しむ】【一緒に出かける】【冗談を言い合う】【お祝い事は毎度行う】【相談をする】を質問した。こちらは父親、母親、兄弟姉妹、その他(祖父母等の親戚)を対象に交流の頻度について回答してもらった。また【親と同じ趣味の有無】【家族と普段接していて素直に感じたあなたの家族内でのタイプ】【現在家族に満足している】についても質問した。

2 親への意識に影響を与えている周りの要因や社会現象について

- 大学生が持つ親への意識に関与している周囲の影響や要因を調査するために、【他人の親を羨ましいと感じる】【他人の親を羨ましいと思う】【他人の親に触れたとき自分の親に

感じたこと】【親ガチャの言葉の意味を知っている】【親ガチャという言葉が SNS(主に Twitter)で使用されているのを見たことがある】【親ガチャの印象】を質問した。

3 対象者自身について

・【家族の人数】【兄弟姉妹の人数】【兄弟姉妹の構成】【暮らし向き】【外部活動への意識】【理想の家族、生活】【恋愛で人と付き合うときに重要視していること】【恋愛以外で人と付き合うときに重要視していること】【アルバイト】【精神面での安定】【金銭面での安定】【親との連絡手段】【よく使用する SNS】【好きなドラマやアニメのカテゴリー】【性別】【年齢】

〈有効回答数〉

依頼数:588 名

有効回答数:88 名(14.9%)

無効回答数:15 名

〈注意書き〉

「変数」【選択肢】(内訳) 小数点は1桁まで表記

3.調査結果

3-1 回答者の基本属性

回答者の内訳は「性別」が【男性】が25名(28.4%)、【女性】が57名(64.8%)、【無回答】が6名(6.8%)、N=88であり、全体的に女性の回答者が大半を占めており、【1人暮らし】23名(26.4%)よりも【実家暮らし】62名(71%)(N=88)の方が多くいる傾向にあった。「年齢」は【18歳】が12名(13.6%)、【19歳】が27名(30.7%)、【20歳】が14名(15.9%)、【21歳】が14名(15.9%)、【22歳】が19名(21.6%)、(N=88)であった。

「よく使用する SNS」は【LINE】が52名(59.8%)、【Instagram】が14名(16.1%)、【Twitter】が18名(20.7%)、【TikTok】が3名(3.4%)(N=87)であった。

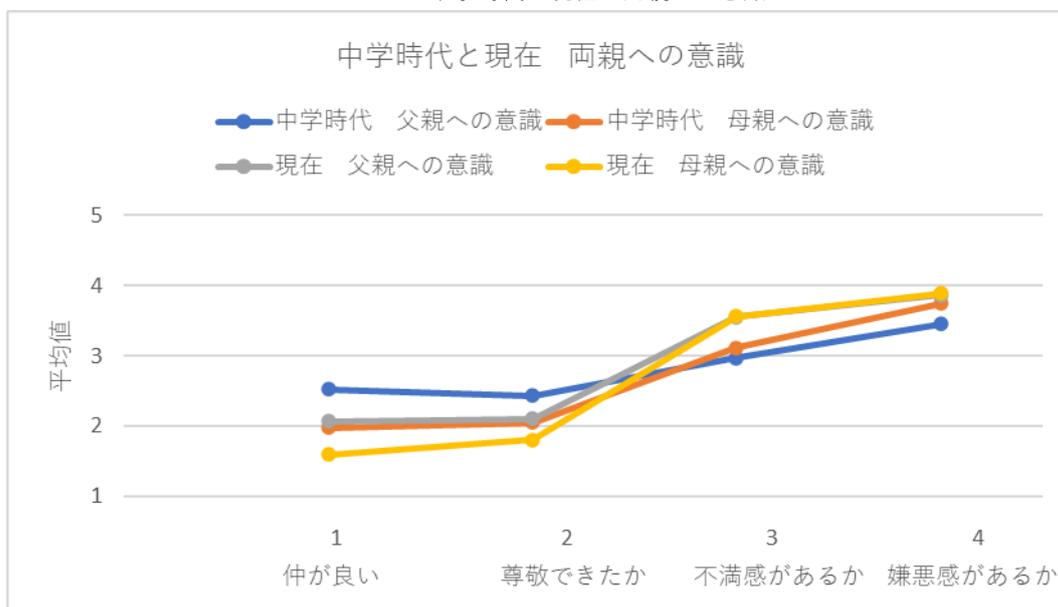
「好きなドラマやアニメのカテゴリー」は【ラブロマンス】が26名(30.2%)、【サスペンス】が10名(11.6%)、【アクション】が24名(27.9%)、【スポーツ系】が7名(8.1%)、【友情系】が4名(4.7%)、【その他】が15名(17.4%)(N=86)であった。

3-2 親への意識

親への意識を年代別にポジティブとネガティブの観点から聞いてみた。(N=88)

以下のグラフはそれぞれの平均値を表している。グラフ1によると、全体的にネガティブな意識の平均値が高く、それは父親、母親の両方に見られたが、【現在 母親と仲が良いか】【現在 母親に嫌悪感があるか】の差が最もあることから、父親より母親へのネガティブな意識が高いことが分かった。

グラフ1 中学時代と現在の両親への意識



3-3 ポジティブ得点とネガティブ得点による分析

「仲の良さ・尊敬の度合い」をポジティブ得点、「不満感・嫌悪感」をネガティブ得点とし、五段階評定を合計して集計した。さらに中学時代と現在に分けて得点を比較してみた。

【中学時代の父親へのポジティブ得点】は平均 5.0 点(標準偏差=1.9)であった。【現在の父親へのポジティブ得点】は平均が 6.4 点(標準偏差=2.1)であった。父親へのポジティブ得点は中学時代 5.0 点から現在 4.2 点であることから、歳を重ねるごとに父親へのポジティブな意識は低下していると分かった。(t(85)=4.7, p<.01)。

【中学時代の父親へのネガティブ得点】は平均が 6.4 点(標準偏差=2.1)であった。【現在の父親へのネガティブ得点】は平均が 7.4 点(標準偏差=2.0)であった。ネガティブ得点は中学時代 6.4 点から現在 7.4 点であることから、歳を重ねるごとに父親へのネガティブな意識が高くなっていることが分かった。また年代問わずに父親へのネガティブな意識の方が強いが、特に現在のネガティブな意識が強いことも分かった(t(85)=4.9, p<.01)。

【中学時代の母親へのポジティブ得点】は平均が 4.0 点(標準偏差=1.8)であった。【現在の母親へのポジティブ得点】は平均が 6.9 点(標準偏差=1.9)であった。母親へのポジティブ得点は中学時代 4.0 点から現在 3.4 点であることから、歳を重ねるごとに母親へのポジティブな意識も低下していると分かった。(t(86)=4.1, p<.01)。

【現在の母親へのネガティブ得点】は平均が 3.4 点(標準偏差=1.6)であった。【現在の母親へのネガティブ得点】は平均が 7.5 点(標準偏差=2.2)であった。(t(86)=2.8, p<.05)。同様にネガティブ得点は中学時代 6.9 点から現在 7.5 点であることから、歳を重ねるごとに母親へのネガティブな意識も上昇していると分かった。また年代問わずに母親へのネガティブな意識の方が強いが、特に現在の母親へのネガティブな意識に関しては、父親も含め

最も意識が高いことが分かった。

3-4 性別に親への意識

次に性別で親への意識に差があるかどうか調査するために、独立変数が「性別」で従属変数が「中学時代/現在の父親/母親へのポジティブ/ネガティブ総合点」それぞれ t 検定を行った。

「中学時代の父親へのポジティブ総合点」の平均値は【男性】は 5.2 点(標準偏差=1.9)、【女性】は 4.9 点(標準偏差=2)であった。またこれらの二つの平均値には有意な差は見られなかった。(t(79)=0.5 ns)。

「中学時代の父親へのネガティブ総合点」【男性】は 6.5 点(標準偏差=1.8)、【女性】は 6.2 点(標準偏差=2.2)であった。またこれらの二つの平均値には有意な差は見られなかった。(t(79)=0.6 ns)。

「中学時代の母親へのポジティブ総合点」【男性】は 4.4 点(標準偏差=1.8)、【女性】は 3.8 点(標準偏差=1.7)であった。またこれらの二つの平均値には有意な差は見られなかった。(t(80)=1.2 ns)。

「中学時代の母親へのネガティブ総合点」【男性】は 7 点(標準偏差=1.5)、【女性】は 6.8 点(標準偏差=2)であった。またこれらの二つの平均値には有意な差が見られた。(t(61.2)=0.7 p<.05)。

「現在の父親へのポジティブ総合点」【男性】は 3.6 点(標準偏差=1.8)、【女性】は 4.5 点(標準偏差=2.2)であった。またこれらの二つの平均値には有意な差は見られなかった。(t(79)=1.7 ns)。

「現在の父親へのネガティブ総合点」【男性】は 8.2 点(標準偏差=1.5)、【女性】は 7 点(標準偏差=2.1)であった。またこれらの二つの平均値には有意な差が見られた。(t(65.437)=3.4 p<.05)。

「現在の母親へのポジティブ総合点」【男性】は 3.2 点(標準偏差=1.7)、【女性】は 3.3 点(標準偏差=1.5)であった。またこれらの二つの平均値には有意な差は見られなかった。(t(80)=0.4 ns)。

「現在の母親へのネガティブ総合点」【男性】は 7.6 点(標準偏差=2.1)、【女性】は 7.4 点(標準偏差=2.2)であった。またこれらの二つの平均値には有意な差は見られなかった。(t(80)=0.23 ns)。

結果「中学時代の母親へのネガティブ総合点」と「現在の父親へのネガティブ総合点」は性別によって差があり、平均値を見て比較すると男性がより強く感じている。

3-5 家族関係の満足度について

家族関係の満足度にはどのような要因があるのか調査を行った。初めに「家族関係に満足しているか」と質問をし、五段階評定で回答をしてもらった。平均値は 2.0(標準偏差=1.1)であった。以下の表 2 より、【とてもあてはまる】【ややあてはまる】の割合が約 7

割近く占めており、家族関係に満足している学生が多いことがうかがえる。一方、家族関係に満足していない学生もいることが分かった。

表2 家族関係に満足しているか

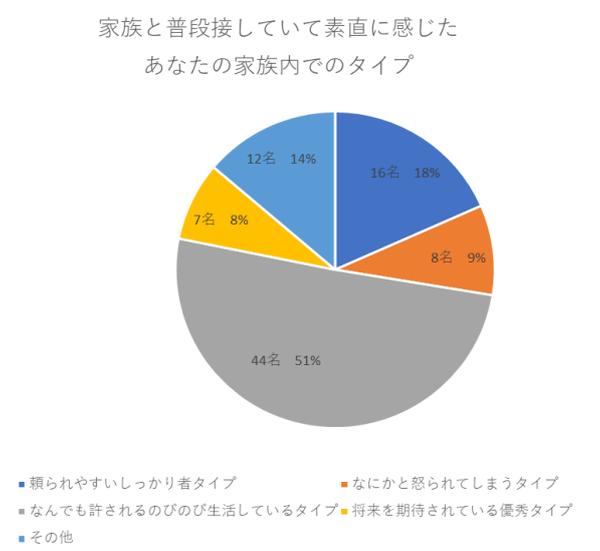
	度数	割合
とてもあてはまる	38	43.7
ややあてはまる	23	26.4
どちらもあてはまらない	13	14.9
あまりあてはまらない	12	13.8
全くあてはまらない	1	1.1
合計	87	100

「親と接して感じる家庭内での自分のタイプ」によって「家族関係の満足度」に差があるかどうか調査するために1要因5水準の分散分析を行った。初めに「家族と普段接していて素直に感じたあなたの家族内でのタイプ」について聞いてみた。(N=87)

図3より【なんでも許されるのびのび生活しているタイプ】が最も多く、家族から制限なく自由に育ててもらえたと感じている学生が多いことが推測される。「家族関係の満足度」の平均値は、【頼られやすいしっかり者タイプ】が2.1(標準偏差=1.1)、【なにかと怒られてしまうタイプ】が1.8(標準偏差=0.9)、【なんでも許されるのびのび生活しているタイプ】が1.7(標準偏差=0.9)、【将来を期待されている優秀タイプ】が2.7(標準偏差=1.1)、【その他】が2.9(標準偏差=1.2)(N=87)であった。

結果、有意な差が見られた($F(4,82)=4.3$ $p<.05$)。Turkey法による多重比較を行ったところ、【なんでも許されるのびのび生活しているタイプ】($p<.05$)に差があることが分かった。

図3 家族と普段接していて素直に感じたあなたの家庭内でのタイプ



また「性別」によって「親と接して感じる家庭内での自分のタイプ」に違いがあるか調査するためにカイ二乗検定を行った。結果有意な差はなく($\chi^2(8)=0.1, ns$)、性別によって「親と接して感じる家庭内での自分のタイプ」には差がないことが分かった。

性別による「親と接して感じる家庭内での自分のタイプ」

	頼られや すいしっ かり者タ イプ	なにかと 怒られて しまうタ イプ	なんでも許さ れるのびのび 生活している タイプ	将来を期待 されている 優秀タイプ	その他	合計
男性	2	5	15	0	3	25
女性	12	3	28	6	8	57
合計	14	8	43	6	11	82

二つの分析を踏まえ、男女共通で【なんでも許されるのびのび生活しているタイプ】と選んだ人は、家族関係にとっても満足している傾向にあると分かった。

次に「あなたの兄弟と姉妹の構成について」(N=87)聞いた。兄弟姉妹の中の立ち位置の違いによって家族への満足度に違いがあるかどうか調査するために1要因4水準の分散分析を行った。(N=87)

表4によると【一番年上】が最も多く、【上と下に挟まれている】顔最も少ないことが分かる。平均値を見ると【1人っ子】は2.2(標準偏差=1.2)、【一番年上】は2.1(標準偏差=1.1)、【上と下に挟まれている】が1.5(標準偏差=1.0)、【一番年下】が1.8(標準偏差=1.1)であった。結果有意な差は見られなかった。(F(3,83)=0.8 ns)。

表4 兄弟姉妹の構成

	度数	割合
1人っ子	14	16.1
一番年上	38	43.7
上と下に挟まれている	4	4.6
一番年下	31	35.6
合計	87	100

3-5-1 家族関係の満足度 ～家族との交流～

どんな要因が家族関係の満足度に影響を及ぼしているのだろうか。更に深く調査してみよう。そこで「現在の家族内の交流の頻度」が多いと自覚している人ほど「家族関係の満

足度」が高いのではないかと推測し、を行い比較してみた。対象を「父親」「母親」「兄弟姉妹」「その他(祖父母等の親戚)」とし、それぞれ【一緒に食事をする】 【一緒に娯楽を楽しむ】 【一緒に出かける】 【冗談を言い合う】 【お祝い事は毎度行う】 【相談をする】 に該当するかどうか答えてもらった。

「家族関係の満足度」の平均値は、父親と【一緒に娯楽を楽しむ】にあてはまる人が 1.5(標準偏差=0.6)、あてはまらない人が 2.3(標準偏差=1.2)であった。父親と【お祝い事は毎度行う】にあてはまる人が 1.7(標準偏差=0.9)、あてはまらない人が 2.5(標準偏差=1.3)であった。母親と【お祝い事は毎度行う】にあてはまる人が 1.8(標準偏差=0.9)、あてはまらない人が 2.9(標準偏差=1.5)であった。母親と【相談する】にあてはまる人は 1.7(標準偏差=0.9)、あてはまらない人は 2.7(標準偏差=1.3)であった。

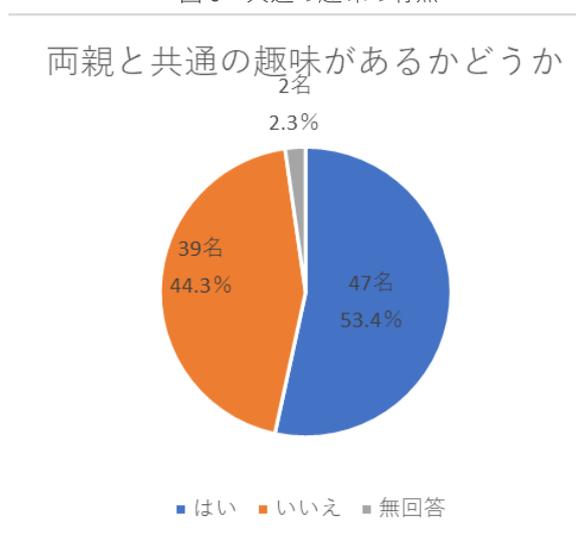
父親と【一緒に娯楽を楽しむ】 ($t(82.1)=3.7, p<.01$)。父親と【お祝い事は毎度行う】 ($t(83)=3.3, p<.01$)。母親と【お祝い事は毎度行う】 ($t(83)=3.5, p<.01$)。母親と【相談する】 ($t(34.1)=3.16, p<.05$)。に有意な差が見られた。

よって家族関係の満足度には母親との相談を代表とする親密なコミュニケーション、父親との娯楽や親と特別な日を過ごすことが関係していると分かった。ここから兄弟姉妹やその他の親戚より、親との関係を構築していくことが重要であることが分かった。

3-6 家族関係の満足度 ～親と共通の趣味があることの影響～

「親と共通の趣味があるかどうか」聞いたところ、図 5 によると趣味が【ある】人は 47 名(53.4%)、【ない】と答えた人は 39 名(44.3%)、無回答は 2 名(2.3%)(N=88)であった。

図 5 共通の趣味の有無



また「共通の趣味があると答えた人にどのような趣味があるのか」聞いた。表 6 による

と【音楽(楽器、音楽、ダンス)】が最も多い趣味であり、二番目に多いのは【遊び(ゲーム等)】であった。(N=49)

表6 親と共通の趣味のカテゴリー

	度数	割合
スポーツ (球技・スノーボード・乗り物など)	6	12.2
音楽 (楽器・音楽・ダンス)	12	24.5
芸術 (手芸・制作・工作など)	4	8.2
日常 (食・旅行・料理など)	5	10.2
文化 (日本文化・異文化など)	4	8.2
エンタメ (ライブ鑑賞・ライブ参戦・DVDやCDの購入など)	6	12.2
遊び (ゲーム等)	10	20.4
その他	2	4.1
共通の趣味がない	49	100

親と趣味が合う人ほど家族関係の満足度が高いのではないかと考えている。これらを調査するために独立変数が「趣味があるかどうか」、従属変数が「家族に満足しているかどうか」のt検定を行った。

結果有意な差が見られた。(t(68.4)=3.5 p<.01)。よって親との趣味がある人とない人によって家族への満足度が異なることが分かった。

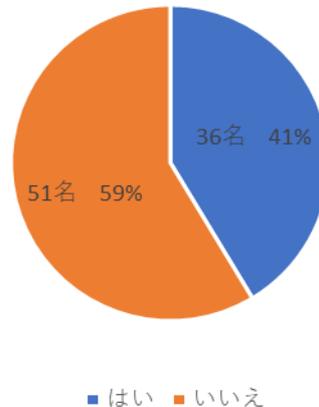
3-8 親子関係に及ぼす周りの影響力*について

* 今回の調査での周りの影響の要因は「他人の親を羨ましいと感じるかどうか」「他人の親を羨ましいと思う理由」「他人の親に触れたとき自分の親に感じたこと」「親ガチャ」とした。

他人の親を羨ましいという感じたことの有無と家族への満足感の関係性を調査するために、1 要因 5 水準の分散分析を行った。「家族関係の満足度」の平均値で、羨ましいと感じたことがある人は 2.7(標準偏差=1.2)、ない人は 1.5(標準偏差=0.8)で結果有意な差があった。(F(1,85)=32.8 p<.01)。他人の親・家庭に羨ましいと感じたことがない人の方が高い傾向になり、自分以外の家庭に羨ましいと感じるかどうかで自分の家族への満足感が変化することが分かった。

図7 他人の親を羨ましいと感じるかどうか

他人の親を羨ましいと感じるかどうか



また他人の親・家庭に羨ましいと感じたことがあるかどうかで「他人の親に触れたときに自分の親に感じたこと」に違いがあるかどうかを調査するために t 検定を行った。

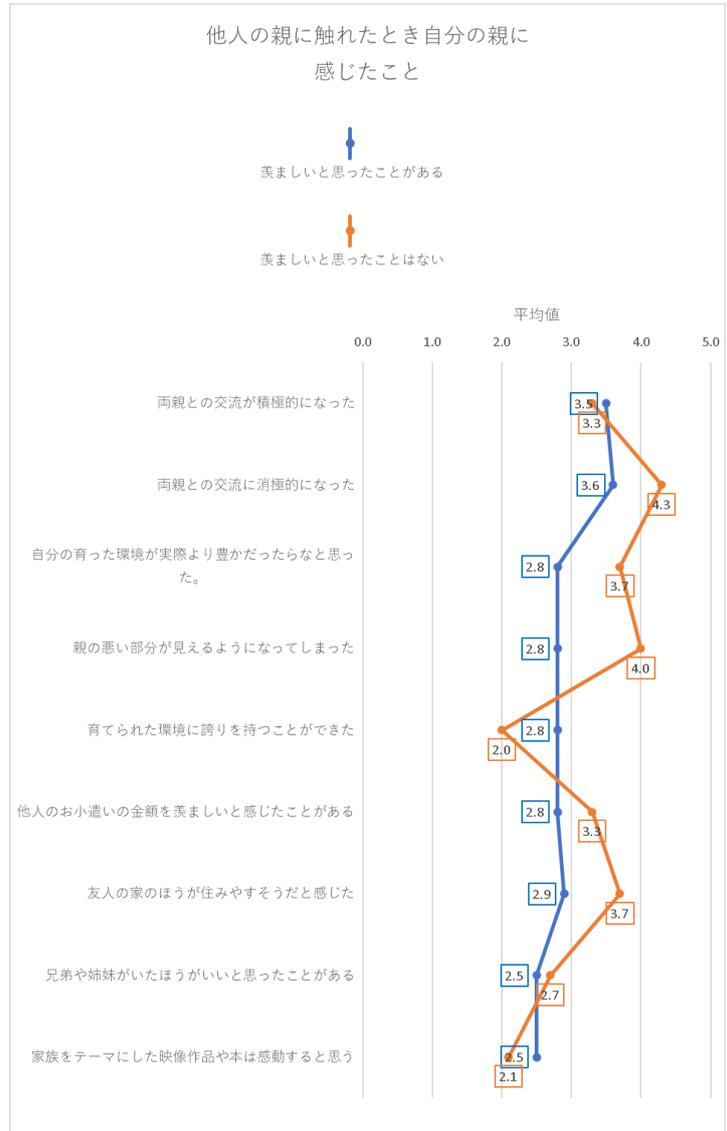
まずグラフ 8 を示す。これは「他人の親に触れたときに自分の親に感じたこと」の 9 項目の平均値である。ここでは 1 項目目の【自分の親を他人と比較し、羨むようになった】は独立変数と被るため分析から省いた。グラフ 8 によると最も高い項目は【親との交流が消極的になった】の 4 点(標準偏差=0.9)であった。次に【親の悪い部分が見えるようになってしまった】の平均値が 3.5 点(標準偏差=1.2)、【友人の家のほうが住みやすそうだと感じた】の平均値は 3.4(標準偏差=1.3)であった。このことから他人の親・家庭と触れたとき、ネガティブな気持ちになる傾向にあることが分かった。

t 検定の結果、【両親との交流に消極的になった】($t(67.7)=3.5$ $p<.01$)。【自分の育った環境が実際より豊かだったらなと思った】($t(76.8)=3.2$ $p<.01$)。【親の悪い部分が見えるようになってしまった】($t(71.9)=4.7$ $p<.01$)。【育てられた環境に誇りを持つことができた】($t(77.6)=3.3$ $p<.01$)。【友人の家のほうが住みやすいと感じた】($t(84)=3.1$ $p<.01$)に有意な差があった。グラフ 9 は平均値のグラフである。グラフ 9 によると、全体的に平均値に差があることが分かる。特に【親の悪い部分が見えるようになってしまった】に関しては他人の親を羨ましいと感じるかどうかで平均値に大きな差が出ている。他人の親を羨ましいと感じることは悪いことではないと感じる。だがそれを自分の理想と重ねてしまうと、自分の親に対して満足できないのであろう。家族関係を良好にしたければ、初めから他人の親と比べるべきではない。比べたとしても自分の親への固い愛情や絆で貫くべきである。だが親との関係が構築されなかったが故、家族内での事件や問題が起きているのだろう。

グラフ 8 他人の親に触れたとき自分の親に感いたことについて



グラフ9 他人の親に触れたときに感じたこと



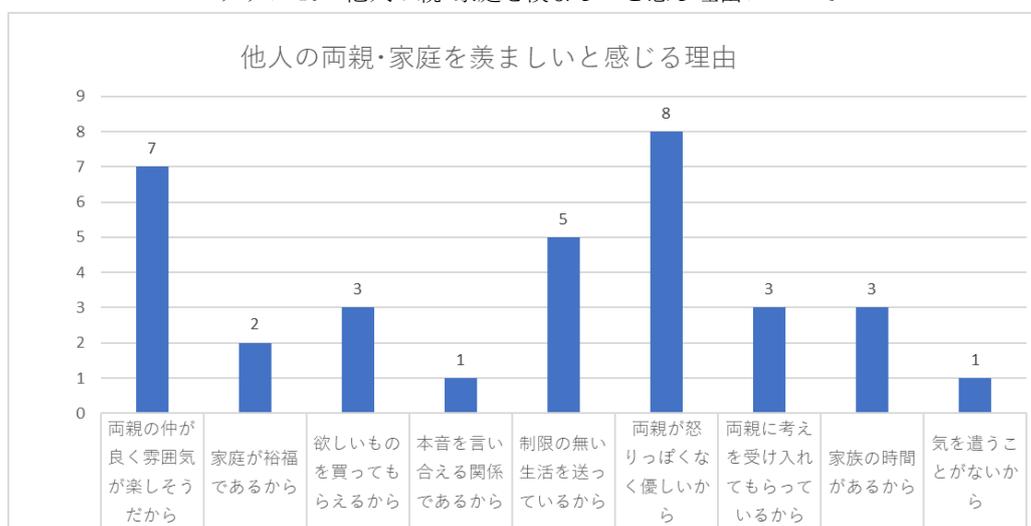
次に「他人の親を羨ましいと感じたことがあるか」に【はい】と答えた36名に羨ましいと感じた理由や背景について聞いてみた。自由回答で聞いているため、九つのカテゴリーに分けて分析を行った。

図10によると、【自分と比べて、親の仲が良く雰囲気が楽しそうだから】が(7名 21.1%)、【自分と比べて、家庭が裕福であるから】が(2名 6.1%)、【自分と比べて欲しいものを買ってもらえているから】が(3名 9.1%)、【自分と比べて、本音を言い合える関係であるから】が(1名 3%)、【自分と比べて、門限が無く制限の無い生活を送っているから】が(5名 15.2%)、【自分と比べて。親が怒りっぽくなく、優しいから】が(8名 24.2%)、【自分と比べて、親に考えを受け入れてもらっているから】が(3名 9.1%)、

【自分と比べて、旅行や家族団らんの時間があるから】が(3名 9.1名)、【自分と比べて、気を遣うこと無く家族と話しているから】が(1名 3%)(N=33)であった。

結果、【自分と比べて。親が怒りっぽくなく、優しいから】が最も多く、次に【自分と比べて、親の仲が良く雰囲気が楽しそうだから】が多かった。これらの理由意外にも門限が厳しいことや欲しいものを買ってもらえないことが理由に挙がっている。以上のことと図 10 から、子どもは親に、自分の考えを理解してくれることや素で過ごせる関係性を求めている事が分かった。本調査で、親と同じ趣味があるかどうかで家族関係への満足度が変化すると分かっている。この結果を踏まえると、親と同じ趣味がある人は、自分自身を理解してくれていると感じているのではないかと推測する。よって家族への満足感があるのだろう。

グラフ 10 他人の親・家庭を羨ましいと感じ理由について



他人の親・家庭に触れたときの感情をより詳しく分析しよう。他人の親と接した時や他人の親について話を聞いたとき、自分の親に対して感じることにどんな要因があるのか調査するために因子分析を行い、三つの因子で分類した。まず外部からの影響力という因子について見てみると、他人の親に対する羨ましいと感じる気持ちや、自分の家族への劣等感の気持ちが多いことが分かった。親へのネガティブ得点が低くなっているという調査結果を踏まえると、自分より楽しそうに親に対して不満がなさそうな関係に憧れの気持ちを抱くのだと推測した。

二つ目の因子として家族愛が出た。他人の親・家庭と接しても、変わらずに自分の家族への愛情や肯定的な感情が多いことが分かった。親から十分に理解され生活出来たり、日々の交流が多かったりすることで家族への満足度が高い傾向にあると分かったが、家族への満足度が高いと、外部からの影響には受けにくいということも分かった。

最後の因子として他人の裕福さがあることが分かった。項目としては他人のお小遣いに対するものである。

表 11 因子分析の結果

	外部からの影響	家族愛	他人の裕福さ
親の悪い部分が見えるようになってしまった	0.792	-0.066	-0.209
自分の親を他人と比較し、羨むようになったことがある。	0.757	0.064	-0.120
自分の育った環境が実際より豊かだったらなと思った	0.730	-0.068	0.178
友人の家のほうが住みやすそうだと感じた	0.712	0.295	0.193
両親との交流に消極的になった	0.573	-0.170	-0.383
両親との交流が積極的になった	-0.027	0.779	-0.161
兄弟や姉妹がいたほうが良いと思ったことがある	0.237	0.710	-0.412
育てられた環境に誇りを持つことができた	-0.267	0.682	0.268
家族をテーマにした映像作品や本は感動すると思う	-0.151	0.645	0.045
他人のお小遣いの金額を羨ましいと感じたことがある	0.554	0.131	0.686
固有値	2.342	2.107	1.730
寄与値	23.424	21.066	17.297
累積寄与値			61.787

次に「親ガチャという言葉を知っているか」についての質問をした。図 12 によると親ガチャという言葉の意味を知っている人が 9 割以上を占めており、殆どの学生が親ガチャをしていることが分かった。また「親ガチャという言葉が SNS(主に Twitter)で使用されていることを見たことがあるかどうか」の質問をし、親ガチャという言葉の親しみ具合を調査した。図 13 によると 75.9%の学生が SNS で使用されている場面を見たことが分かった。

図 12 親ガチャを知っているかどうか

親ガチャという言葉の意味を知っているか

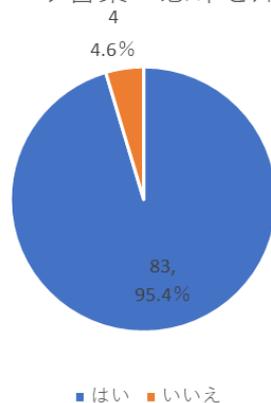
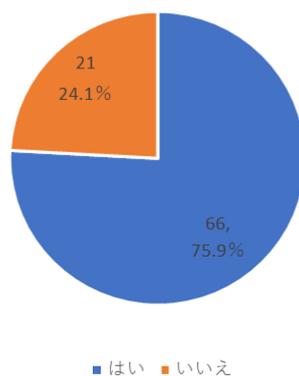


図 13 親ガチャが SNS で使用されているのを見たことがあるか

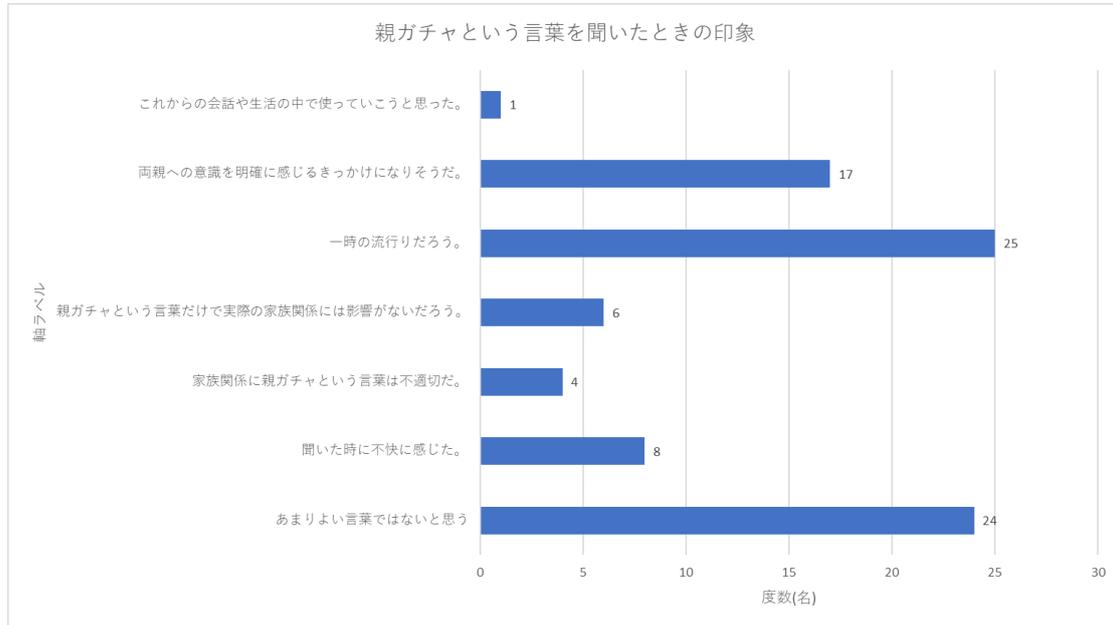
親ガチャという言葉が SNS（主に Twitter）で使用されているのを見たことがあるか。



次に「親ガチャという言葉を知ったとき、見たときの印象について」聞いてみた。以下の図 1 によると、【あまり良い言葉ではないと思う】が 24 名(28.2%)、【聞いた時に不快に感じた】が 8 名(9.4%)、【家族関係に親ガチャという言葉は不適切だ】が 4 名(4.7%)、【親ガチャという言葉だけで実際の家族関係には影響がないだろう】が 6 名(7.1%)、【一時の流行だろう】が 25 名(29.4%)、【親への意識を明確に感じるきっかけになりそうだ】が 17 名(20%)、【これからの会話や生活の中で使っていこうと思った】が 1 名(1.2%)であった。(N=85)

図 14 から親ガチャという言葉に対して否定的な意見を持っている人や、流行だと認識している人が多いことが分かる。

図 14 親ガチャの印象



次に親ガチャという言葉と家族への意識について調査するために、独立変数を「親ガチャという言葉を知っているかどうか」、従属変数に「家族に満足しているかどうか」を設定し、それぞれt検定を行った。【はい】と答えた学生は83名【いいえ】と答えた学生は4名であった。平均値は【はい】が2.1(標準偏差=1.1)【いいえ】が1.5(標準偏差=1.0)であった。結果、一つも有意な差はなかった。(t(85)=0,9 ns)。よって親ガチャの認知の具合によって親への満足感には関係がないことが分かった。

また、親ガチャという言葉の意味を知っている人ほど、他人の親と比べた時、親に感じることに違いがあるかどうか調査するために、「親ガチャという言葉の意味を知っているかどうか」と「他人の親に触れたときに自分の親に感じたこと」のt検定を行った。

結果、一つも有意な差はなかった。このことから、他人の親、家庭に触れた際に、親ガチャという言葉の意味を知っているかどうかで、親に感じることに違いが無いことが分かった。

3-9 価値観や現在の安定状況(恋愛観や金銭面、精神面)と家庭、生活への憧れ

表 15 によると【人間性】を重要視している人は41名(47.1%)で、最も多かった。次に多かったのは【性格】の31名(35.6%)であった。恋愛において内面を重視している事が分かった。

表 15 恋愛で人と付き合うことに関して重要視していること

恋愛で人と付き合うことに関して重要視していること		
	度数	割合
金銭感覚	1	1.1
容姿	4	4.6
食事のマナーや所作	5	5.7
性格	31	35.6
人間性	41	47.1
育ちの良し悪し	1	1.1
尽くしてくれるかどうか	1	1.1
その他	3	3.4
合計	87	100

学生の恋愛においての重要視していることによって理想とする家庭が異なるのではないかという疑問を調査するために、「恋愛で人と付き合うときに重要視していること」と「理想の家族、生活」のカイ二乗検定を行った。

結果、有意な差が見られた。 $(\chi^2=(42)58.5, p<.05)$ 。よって恋愛観は理想の家族や生活に深く関係しており、現実の生活とのギャップを生み出す要因となるのではないかと考えた。

次に現在、「精神面で安定しているかどうか」、「金銭面で安定しているかどうか」と「家族へ満足しているかどうか」に差があるかどうかを調査するため、重回帰分析を行った。

結果、「精神面で安定しているかどうか」で有意な差が見られた。 $(\beta=0.5, p<.01)$ 。よって家族に対して満足感を感じる要因として精神面での安定があると分かった。金銭面での安定は影響力がないようだ。

変数名	係数
精神面での安定	0.5
金銭面での安定	0.04
	$R^2=.268$

4 まとめと考察

今回は親に対する意識を調査した。子どもの親への意識を調査し、状況をはあくすること。親との関係性や親への意識に影響を与えている要因やその関係性を明らかにすること。最後にインターネットに存在している家族に関する情報をどのように受け止め、行動しているのかという疑問を解決すること。これら三つを目的として調査を行った。

結果①現在の方が親に対してネガティブ意識が強く、特に男性に現れている。だが、平均値を比較すると歳を重ねるごとに関係性は良好になっている。②親との関係性や影響を

与えている要因は「親との時間の共有」であると考えます。娯楽、お祝い事をする、本音を打ち明けること、趣味を共有し、思い出を作ること、自分自身の精神面での安定、特別な行事やお祝いをする、これらは親との関係を高めていく上で必要な要素である。よって「本音の双方向の会話」「時間の共有」がポイントであり、家族内での暴力や育児放棄を解決するきっかけになると信じている。③インターネット上に存在している「親ガチャ」は特に効果は無く、リテラシーを働かせ、一時の流行であると流す人が多いと分かった。

5 引用・参考文献

ITmedia ビジネスオンライン 親離れできない大学生が増えている

<https://www.itmedia.co.jp/makoto/articles/1305/28/news054.html> 2023年2月16日閲覧

西日本新聞 me 殺人事件の半数は家庭内・・・加害者家族支援から見えた苦悩

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/832269/> 2023年2月18日閲覧

東洋大学 家族社会学の研究差が語る、時代と共に変わる「家族」の形 <https://www.toyo.ac.jp/link-toyo/life/family/> 2023年2月18日閲覧

魂のチュートリアル：親ガチャから考える若者のスピリチュアル 2022 関西大学伊藤耕一郎 <file:///C:/Users/yukit/Downloads/KU-1100-20220000-03.pdf> 2023年2月16日閲覧

可児市文化創造センター 2021年10月18日 可児市文化創造センター-ala

https://www.kpac.or.jp/ala/essaylist/eiessey_ningennoie5/ 2023年2月16日閲覧

「親ガチャ」問題を考える ～言葉に裏に隠された日本社会のひずみ～武蔵大学人文学部教授 大内裕和 https://imidass.jp/mikata/?article_id=l-60-023-21-10-g600 2023年に2月16日閲覧

「大学生の親への意識の調査」

文教大学情報学部メディア表現学科3年 「メディア調査研究法C」
調査員氏名：小林沙雪

このアンケートは「メディア社会研究法C」の授業の本調査によるアンケートです。文教大学湘南キャンパスに在籍しており、聳塔祭実行委員会の所属している学生と（未定）にのみ調査を行っています。コンピューターシステムを使って回答情報の処理を行いますので、個人情報の特定制やプライバシーが漏れることはありません。また回答アンケートは目的以外には一切使用しません。この調査を通して今後の本調査に生かしたいと考えております。ご協力よろしく申し上げます。※ここでいう親は親としての役割を果たしている方で構いません。

〈ご記入に当たってのお願い〉

調査には、受け取ったご本人がご回答するようにお願いいたします。該当する質問には全てご記入いただくと幸いです。お答えになりにくい質問については無記入で構いません。不明な点がございましたら、調査担当者（小林沙雪：c0p51033@bunkyo.ac.jp）までご連絡ください。

Q1 中学生時代の父親への意識を1つずつ教えてください。

	とてもあてはまる	ややあてはまる	どちらもあてはまらない	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
仲が良い	20.9	30.2	25.6	22.1	1.2
尊敬できる	23.3	33.7	22.1	18.6	2.3
不満感がある	4.7	37.2	24.4	24.4	9.3
嫌悪感がある	5.8	19.8	22.1	27.9	24.4

Q2 中学時代の母親への意識を1つずつ教えてください。

	とてもあてはまる	ややあてはまる	どちらもあてはまらない	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
仲が良い	35.6	43.7	11.5	5.7	3.4
尊敬できる	34.5	39.1	14.9	10.3	1.1
不満感がある	2.3	33.3	23.0	33.3	8.0
嫌悪感がある	2.3	11.5	24.1	34.5	27.6

Q3 中学時代の家族内の交流の頻度について各項目で当てはまるものを教えてください。

ご自身を主観的に見て多いかどうか判断してお答えください。複数回答でも構いません。

(2：娯楽はテレビ・映画鑑賞、音楽、スポーツ、アウトドア等を示す。3：お祝い事は誕生日や行事を示す。)

	父親	母親	兄弟姉妹	その他(祖父母等親戚)
一緒に食事をする	はい 53.4	はい 93.2	いいえ 100	はい 12.6
	いいえ 46.6	いいえ 6.8		いいえ 87.4
一緒に娯楽を楽しむ	はい 36.8	はい 67.8	いいえ 100	はい 6.9
	いいえ 63.2	いいえ 32.2		いいえ 93.1
一緒に出かける	はい 39.1	はい 85.1	いいえ 100	はい 6.9
	いいえ 60.9	いいえ 14.9		いいえ 93.1

冗談を言 い合う	はい 37.5 いいえ 62.5	はい 64.8 いいえ 35.2	いいえ 100	はい 45.7 いいえ 94.3
お祝い事 は毎度行 う	はい 69.3 いいえ 30.7	はい 90.9 いいえ 9.1	いいえ 100	はい 23.9 いいえ 76.1
相談をす る	はい 14.9 いいえ 85.1	はい 70.1 いいえ 29.9	いいえ 100	はい 4.6 いいえ 95.4

Q4 現在の父親への意識を1つずつ教えてください。

	とてもあて はまる	ややあて はまる	どちらもあては まらない	あまりあては まらない	全くあてはま らない
仲が良 い	37.2	30.2	22.1	9.3	1.2
尊敬で きる	43.0	23.3	18.6	10.5	4.7
不満感 がある	19.8	37.2	25.6	12.8	4.7
嫌悪感 がある	2.3	8.1	20.9	38.4	30.2

Q5 現在の母親への意識を1つずつ教えてください。

	とてもあて はまる	ややあて はまる	どちらもあては まらない	あまりあては まらない	全くあてはま らない
仲が良 い	57.5	32.2	5.7	3.4	1.1
尊敬で きる	47.1	33.3	12.6	5.7	1.1
不満感 がある	5.7	17.2	14.9	39.1	23.0
嫌悪感 がある	5.7	10.3	9.2	39.1	35.6

Q6 現在の家族内の交流の頻度について各項目で当てはまるものを教えてください。

	父親	母親	兄弟姉妹	その他 (祖父母等親戚)
一緒に食事をする	はい 41.4 いいえ 58.6	はい 79.3 いいえ 20.7	いいえ 100	はい 9.2 いいえ 90.8

一緒に娯楽を楽しむ	はい 31.0 いいえ 69.0	はい 59.8 いいえ 40.2	いいえ 100	はい 4.6 いいえ 95.4
一緒に出かける	はい 24.1 いいえ 75.9	はい 69.0 いいえ 31.0	いいえ 100	はい 4.6 いいえ 95.4
冗談を言い合う	はい 45.9 いいえ 54.1	はい 67.1 いいえ 32.9	いいえ 100	はい 4.7 いいえ 95.3
お祝い事は毎度行う	はい 61.6 いいえ 38.4	はい 81.4 いいえ 18.6	はい 1.2 いいえ 98.8	はい 22.1 いいえ 77.9
相談をする	はい 17.2 いいえ 82.8	はい 70.1 いいえ 29.9	はい 1.1 いいえ 98.9	はい 1.1 いいえ 98.9

Q7 あなたは両親と同じ趣味をお持ちですか。 はい 45.3 いいえ 54.7

Q7-1 Q7 で (1.はい) と答えた方にお聞きします。両親と同じ趣味についてそのカテゴリーについて近いものを1つ教えてください。

- 1 スポーツ (球技・スノーボード・乗り物など) 12.2 2 自然 (アウトドア・飼育・園芸) 4.1
3 音楽 (楽器・音楽・ダンス) 24.5 4 芸術 (手芸・制作・工作など) 8.2
5 日常 (食・旅行・料理など) 10.2 6 文化 (日本文化・異文化など) 8.2
7 エンタメ (ライブ鑑賞・ライブ参戦・DVD や CD の購入など) 12.2
8 遊び (ゲーム等) 20.4 9 その他 4.1

Q8 家族と普段接していて素直に感じたことを参考に、あなた自身が感じている家族内のあなたのタイプを1つ教えてください。

- 1 頼られやすいしっかり者タイプ 18.4 2 なにかと怒られてしまうタイプ 9.2
3 なんでも許されるのびのび生活しているタイプ 50.6
4. 将来を期待されている優秀タイプ 8.0 5 その他 13.8

Q9 あなたは現在の家族関係に満足していますか。はいものを1つ選んでください。

- 1 とてもあてはまる 43.7 2 ややあてはまる 26.4 3 どちらもあてはまらない 14.9
4 あまりあてはまらない 13.8 5 全くあてはまらない 1.1

Q10 他人の親をうらやましいと感じたことがありますか。 1 はい 41.4 2 いいえ 58.6

Q10-1 あなたは Q10 で 1.はいと感じたことの原因や背景を教えてください。自由回答
・自分と比べて、親の仲が良く雰囲気が楽しそうだから・自分と比べて、家庭が裕福であるから・自分と比べて欲しいものを買ってもらえているから・自分と比べて、本音を言い合える関係であるから・自分と比べて、門限が無く制限の無い生活を送っているから・自

分と比べて。親が怒りっぽくなく、優しいから・自分と比べて、親に考えを受け入れてもらっているから・自分と比べて、旅行や家族団らんの時間があるから・自分と比べて、気を遣うこと無く家族と話しているから N=33

Q10-2 他人の両親と接した時や他人の両親について話を聞いた時、自分の両親に対してどのように感じましたか。はいものを1つ選んでください

	とてもあてはまる	ややあてはまる	どちらもない	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
自分の親を他人と比較し、羨むようになったことがある。	9.3	32.6	14	26.7	17.4
両親との交流が積極的になった。	6	15.5	29.8	34.5	14.3
両親との交流に消極的になった。	1.2	3.5	22.4	38.8	34.1
自分の育った環境が実際より豊かだったらと思った。	10.5	22.1	17.4	23.3	26.7
親の悪い部分が見えるようになってしまった。	5.8	17.4	25.6	23.3	27.9
育てられた環境に誇りを持つことができた。	34.9	22.1	23.3	15.1	4.7
他人のお小遣いの金額を羨ましいと感じた。	15.1	29.1	14	14	27.9
友人の家のほうが住みやすそうだと感じた。	5.8	25.6	18.6	25.6	24.4
兄弟や姉妹がいたほうが良いと思ったことがある。	29.1	24.4	20.9	7	18.6
家族をテーマにした映像作品や本は感動すると思う。	32.6	30.2	17.4	14	5.8

Q10-3 親ガチャという言葉の意味を知っていますか。1 はい 95.4 2 いいえ 4.6

Q10-4 親ガチャという言葉がSNS（主に Twitter）で使用されていることを見たことがありますか。 1 はい 75.9 2 いいえ 24.1

Q10 - 5 親ガチャという言葉聞いたとき、見たときの印象について 1 つ教えてください。

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------------|
| 1 あまりよい言葉ではないと思う 28.2 | 2 聞いた時に不快に感じた 9.4 |
| 3 家族関係に親ガチャという言葉は不適切だ 4.7 | 4 親ガチャという言葉だけで実際の家族関係には影響がないだろう 7.1 |
| 5 一時の流行りだろう 29.4 | |
| 6 両親への意識を明確に感じるきっかけになりそう 20.0 | |
| 7 これからの会話や生活の中で使っていこうと思った 1.2 | |

Q11 あなたは何人家族ですか。あなたが家族だと思う範囲で構いません。

- | | | | | | |
|--------|---------|---------|---------|--------|--------|
| 2人 1.2 | 3人 16.7 | 4人 39.3 | 5人 25.0 | 6人 8.3 | 7人 7.1 |
| 9人 1.2 | 12人 1.2 | | | | |

Q12 あなたの兄弟・姉妹の人数について教えてください。

- | | | | | |
|---------|---------|---------|--------|--------|
| 0人 16.1 | 1人 48.3 | 2人 24.1 | 3人 9.2 | 4人 2.3 |
|---------|---------|---------|--------|--------|

Q13 あなたの兄弟・姉妹の構成について教えてください。

- | | | | |
|-------------|-------------|------------------|-------------|
| 1 1人っこ 16.1 | 2 一番年上 43.7 | 3 上と下に挟まれている 4.6 | 4 一番年下 35.6 |
|-------------|-------------|------------------|-------------|

Q14 あなたの現在の暮らし向きを教えてください。当てはまるものを1つお選びください。 1 1人暮らし 26.4 2 実家暮らし 71.3 3 その他 2.3

Q15 あなたの学校でのサークル活動や部活動について1つ教えてください。

- | | | |
|---------------------|----------------------------|------------|
| 1 積極的に活動をしている。 33.3 | 2 興味はあるが積極的に行動出来ていない。 14.9 | |
| 3 1人だと活動したくない 5.7 | 4 興味が無い 31.0 | 5 その他 14.9 |

Q16 あなたにとって理想の生活に近いものを1つ教えてください。

- | | |
|----------------------------------|----------------------------|
| 1 不自由無く睡眠・食事ができる暮らし 19.5 | 2 心に余裕を持てるような暮らし 36.8 |
| 3 お金に余裕のある暮らし 10.3 | 4 労働に縛られず、趣味を重要視する暮らし 18.4 |
| 5 仕事ややるべきことと休暇のメリハリを大切にす暮らし 10.3 | |
| 6 家具や食材など丁寧な暮らしにこだわる暮らし 1.1 | 7 その他 3.4 |

Q17 あなたが恋愛で人と付き合うことに関して重要視していることについて1つ教えてください。

- | | | | |
|------------|----------|-----------------|-------------------|
| 1 金銭感覚 1.1 | 2 容姿 4.6 | 3 食事のマナーや所作 5.7 | 4 性格 35.6 |
| 5 人間性 47.1 | 6 経済力 0 | 7 育ちの善し悪し 1.1 | 8 尽くしてくれるかどうか 1.1 |

9 その他 3.4

Q18 あなたが恋愛以外で人と付き合うことに関して重要視していることについて 1 つ教えてください。

1 金銭感覚 0 2 容姿 0 3 食事のマナーや所作 3.4 4 性格 34.1

5 人間性 58.0 6 経済力 0 7 育ちの善し悪し 0 8 尽くしてくれるかどうか 0

9 その他 0

Q19-1 あなたの暮らしについてどれか 1 つ教えてください。Q14 参照

Q19-2 現在アルバイトをしている方に質問します。現在の収入に満足をしていますか。

1 とてもあてはまる 11.1 2 ややあてはまる 33.3 3 どちらもあてはまらない 25

4 あまりあてはまらない 29.2 5 全くあてはまらない 1.4

Q19-3 現在アルバイトをしていない方にお聞きします。現在金銭的に満足していますか。

1 とてもあてはま 4.8 2 ややあてはまる 42.9 3 どちらもあてはまらない 4.8

4 あまりあてはまらない 42.9 5 全くあてはまらない 4.8

Q19-3-1 Q19-3 に回答しているアルバイトをしていない方に引き続き、お聞きします。

あなたはどこから生活のための収入を得ていますか。自由回答

・貯金していたお小遣いから・家族からお小遣いや仕送り・奨学金・祖父母から

Q19-4 現在、精神的に安定した暮らしを送っていますか。どれか 1 つ教えてください。

安定 1 (30.2)-2(38.4)-3(14)-4(10.5)-5(7)不安定

Q19-5 現在、金銭的に安定した暮らしを送っていますか。どれか 1 つ教えてください。

安定 1(20.7)-2(32.2)-3(27.6)-4(13.8)-5(5.7)不安定

Q19-6 勉強と遊びを両立出来ていると思いますか。どれか 1 つ教えてください。

1 とてもあてはまる 11.5 2 ややあてはまる 55.2 3 どちらもあてはまらない 10.3 4 あまりあてはまらない 16.1 5 全くあてはまらない 6.9

Q20 特に緊急性のない普段の会話を両親と行う際、どのような手段で会話をしていますか。（複数回答）

1 直接顔を見合いながら会話する 69 2 LINE 等の SNS を介して会話する。49.4 3 電話で会話をする。21.8 4 話さない 6.9 5 その他 0

Q21 よく使用する SNS について 1 つ教えてください。

1 LINE 59.8 2 Instagram 16.1 3 Twitter 20.7 4 TikTok 3.4 5 Facebook 0 6 その他 0

Q22 好きなドラマやアニメのカテゴリーについて1つ教えてください。

1 ラブロマンス 30.2 2 サスペンス 11.6 3 アクション 27.9 4 スポーツ系 8.1 5 友情系
4.7 6 その他 17.4

Q23 あなたの性別を教えてください。1 男性 28.4 2 女性 64.8 無回答 6.8

Q24 あなたの年齢を教えてください。

18 歳 14.0 19 歳 31.4 20 歳 16.3 21 歳 16.3 22 歳 22.1

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。